

# gzn010104 「論理演算の基礎」 演習問題

## 問1

論理式  $Z = X \cdot \overline{Y} + \overline{X} \cdot Y$  の真理値表はどれか。ここで、 $\cdot$  は論理積、 $+$  は論理和、 $\overline{A}$  は A の否定を表す。

ア

X	Y	Z
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

イ

X	Y	Z
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

ウ

X	Y	Z
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	1

エ

X	Y	Z
0	0	1
0	1	0
1	0	0
1	1	1

## 問2

真理値表と等価な論理式はどれか。ここで、 $\cdot$  は論理積、 $+$  は論理和、 $\overline{A}$  は A の否定を表す。

x	y	演算結果
0	0	0
0	1	0
1	0	1
1	1	0

ア  $x + \overline{y}$

ウ  $x \cdot \overline{y}$

イ  $\overline{x} + y$

エ  $\overline{x} \cdot y$

## 問3

ビット列 A とビット列 B の排他的論理和演算 (EOR) の結果がビット列 C となる時、ビット列 B の値はどれか。

A	1 0 1 1 0 0 1 0
EOR B	□ □ □ □ □ □ □ □
C	0 0 1 1 1 1 0 1

ア 0 0 1 1 0 0 0 0

ウ 1 0 0 0 1 1 1 1

イ 0 1 1 1 0 0 0 0

エ 1 0 1 1 1 1 1 1

#### 問4

パリティビットを含む8ビット符号において、最上位のパリティビット以外の下位7ビットを得るためのビット演算はどれか。

- ア 16進数0FとのANDをとる。
- イ 16進数0FとのORをとる。
- ウ 16進数7FとのANDをとる。
- エ 16進数FFとのXOR(排他的論理和)をとる。

#### 問5

8ビットのデータの下位2ビットを変化させずに、上位6ビットのすべてを反転させる論理演算はどれか。

- ア 16進数03と排他的論理和をとる。
- イ 16進数03と論理和をとる。
- ウ 16進数FCと排他的論理和をとる。
- エ 16進数FCと論理和をとる。

#### 問6

8ビットのビット列の下位4ビットが変化しない操作はどれか。

- ア 16進表記0Fのビット列との論理積をとる。
- イ 16進表記0Fのビット列との論理和をとる。
- ウ 16進表記0Fのビット列との排他的論理和をとる。
- エ 16進表記0Fのビット列との否定論理積をとる。

#### 問7

ビット数が等しい任意のビット列aとbに対して、等式 $a = b$ と同じことを表すものはどれか。ここで、AND、OR、XORはそれぞれ、ビットごとの論理積、論理和、排他的論理和を表す。

- ア  $a \text{ AND } b = 00\dots0$
- イ  $a \text{ OR } b = 11\dots1$
- ウ  $a \text{ XOR } b = 00\dots0$
- エ  $a \text{ XOR } b = 11\dots1$

#### 問8

ビット列 $x = 1100$ と $y = 1010$ から、 $1011$ を得る演算はどれか。ここで、AND、OR、 $\bar{z}$ は、それぞれビットごとの論理積、論理和、zの否定を表す。

- ア  $x \text{ AND } \bar{y}$
- イ  $\bar{x} \text{ AND } y$
- ウ  $x \text{ OR } \bar{y}$
- エ  $\bar{x} \text{ OR } y$

**問9**

NOR (否定論理和) は2項論理演算の一つである。x NOR y の行に入る結果はどれか。

ア	0	0	0	1
イ	0	1	1	0
ウ	1	0	0	0
エ	1	1	1	0

x	0	0	1	1
y	0	1	0	1
x NOR y				

**問10**

排他的論理和を表す演算子を $\nabla$ とすると、

11010110 $\nabla$ 01101100

の演算結果を16進数で表したのどれか。

- ア 22                      イ FE                      ウ 44                      エ BA

**問11**

ビット列がすべて0になる論理演算はどれか。ここで、“ $\cdot$ ”は論理積、“ $+$ ”は論理和、“ $\nabla$ ”は排他的論理和、“ $\bar{A}$ ”はAの否定を表す。

- ア  $A \cdot \bar{A}$                       イ  $(A \nabla A) + \bar{A}$                       ウ  $A \nabla \bar{A}$                       エ  $A + \bar{A}$

**問12**

ビット列がオール1になるビット演算はどれか。“ $\cdot$ ”は論理積(AND)、“ $+$ ”は論理和(OR)、“ $\nabla$ ”は排他的論理和(EOR)、“ $\bar{X}$ ”はXの否定(NOT)を表す。

- ア  $X + \bar{X}$                       イ  $X \cdot \bar{X}$                       ウ  $X \nabla X$                       エ  $X \nabla X \nabla X$

**問13**

NAND (否定論理積) は2値変数に対する論理演算の一つである。X NAND Yの列に入る結果はどれか。解答は、左からの順に上から下に並んでいる。

X	Y	X NAND Y
0	0	
0	1	
1	0	
1	1	

- ア 0001                      イ 0110  
 ウ 1000                      エ 1110

**問14**

4ビットの2進数で表現された数が二つある。これらのビットごとの論理積は0010であり、ビットごとの論理和は1011となる。二つの数の和はどれか。

- ア 1100
- ウ 1110

- イ 1101
- エ 1111

**問15**

論理式  $\overline{(\overline{A+B}) \cdot (A+\overline{C})}$  と等しいものはどれか。ここで、 $\cdot$  は論理積、 $+$  は論理和、 $\overline{X}$  は X の否定を表す。

ア  $A \cdot \overline{B} + \overline{A} \cdot C$

イ  $\overline{A} \cdot B + A \cdot \overline{C}$

ウ  $(A+B) \cdot (\overline{A}+C)$

エ  $(\overline{A}+B) \cdot (A+\overline{C})$

**問16**

論理式  $(x \text{ or } y) \text{ and } z$  の値が真になるような、x、y、zの値の組はどれか。

	x	y	z
ア	偽	偽	真
イ	偽	真	偽
ウ	真	偽	偽
エ	真	偽	真

**問17**

P, Q, Rはいずれも命題である。命題Pの真理値は真であり、命題(not P) or Q及び命題(not Q) or Rのいずれの真理値も真であることが分かっている。Q, Rの真理値はどれか。ここで、X or YはXとYの論理和、not XはXの否定を表す。

	Q	R
ア	偽	偽
イ	偽	真
ウ	真	偽
エ	真	真

**問18**

A、B、Cを論理変数、★を論理演算子とするとき、 $(A★B)★C=A★(B★C)$ が必ずしも成り立たないのは、★がどの論理演算子の場合か。EORは排他的論理和、NANDはANDの演算結果の否定、NEORはEOR演算の結果の否定を意味するものとする。

- ア AND
- イ OR
- ウ NAND
- エ NEOR

**問19**

8ビットで表される符号なし2進数xが16の倍数であるかどうかを調べる方法として、適切なものはどれか。

- ア xと2進数00001111のビットごとの論理積をとった結果が0である。
- イ xと2進数00001111のビットごとの論理和をとった結果が0である。
- ウ xと2進数11110000のビットごとの論理積をとった結果が0である。
- エ xと2進数11110000のビットごとの論理和をとった結果が0である。

**問20**

次の真理値表で、変数X、Y、Zに対する関数Fを表す式はどれか。ここで、“・”は論理積、“+”は論理和、 $\bar{A}$ はAの否定を表す。

X	Y	Z	F
0	0	0	0
0	0	1	1
0	1	0	1
0	1	1	0
1	0	0	0
1	0	1	0
1	1	0	1
1	1	1	1

- ア  $X \cdot Y + Y \cdot \bar{Z}$
- イ  $X \cdot Y \cdot \bar{Z} + Y$
- ウ  $\bar{X} \cdot \bar{Y} \cdot Z + X \cdot Y + Y \cdot \bar{Z}$
- エ  $\bar{X} \cdot \bar{Y} \cdot Z + X \cdot \bar{Y} + \bar{Y} \cdot \bar{Z}$

**問21**

二つのビットパターンP(01010101)とQ(00101011)の否定論理積( $\overline{P \wedge Q}$ )を16進数で表したものはどれか。

- ア 7F
- イ 80
- ウ FE
- エ FF

**問22**

$x, y, z$  を論理変数, T を真, F を偽とするとき, 次の真理値表で示される関数  $f(x, y, z)$  を表す論理式はどれか。ここで,  $\wedge$  は論理積,  $\vee$  は論理和,  $\bar{A}$  は A の否定を表す。

- ア  $(x \wedge y) \vee (y \wedge z)$
- イ  $(x \wedge y) \vee (\bar{y} \wedge z)$
- ウ  $(x \wedge y) \vee (\bar{y} \wedge \bar{z})$
- エ  $(x \wedge \bar{y}) \vee (\bar{y} \vee \bar{z})$

$x$	$y$	$z$	$f(x, y, z)$
T	T	T	T
T	T	F	T
T	F	T	T
T	F	F	F
F	T	T	F
F	T	F	F
F	F	T	T
F	F	F	F

**問23**

16ビットの符号なし固定小数点の2進数  $n$  を, 16進数の各けたに分けて下位のけたから順にスタックに格納するために, 次の手順を4回繰り返す。a, bに入る適切な語句の組合せはどれか。ここで,  $x \times x_{16}$  は16進数  $x \times x$  を表す。

[手順]

- (1) a を  $x$  に代入する。
- (2)  $x$  をスタックにプッシュする。
- (3)  $n$  を b 論理シフトする。

	a	b
ア	$n \text{ AND } 000F_{16}$	左に4ビット
イ	$n \text{ AND } 000F_{16}$	右に4ビット
ウ	$n \text{ AND } FFF0_{16}$	左に4ビット
エ	$n \text{ AND } FFF0_{16}$	右に4ビット

**問24**

次の真理値表の演算結果を表す論理式はどれか。ここで,  $+$  は論理和,  $\cdot$  は論理積を表す。

- ア  $(x \cdot y) + z$
- イ  $(x + y) \cdot z$
- ウ  $x \cdot (y + z)$
- エ  $x + (y \cdot z)$

$x$	$y$	$z$	演算結果
0	0	0	0
0	0	1	0
0	1	0	0
0	1	1	0
1	0	0	0
1	0	1	1
1	1	0	1
1	1	1	1

**問25**

X及びYはそれぞれ0又は1の値をとる変数である。X□YをXとYの論理演算としたとき、次の真理値表が得られた。X□Yの真理値表はどれか。

X	Y	X AND (X□Y)	X OR (X□Y)
0	0	0	1
0	1	0	1
1	0	0	1
1	1	1	1

ア

X	Y	X□Y
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

イ

X	Y	X□Y
0	0	0
0	1	1
1	0	0
1	1	1

ウ

X	Y	X□Y
0	0	1
0	1	1
1	0	0
1	1	1

エ

X	Y	X□Y
0	0	1
0	1	1
1	0	1
1	1	0

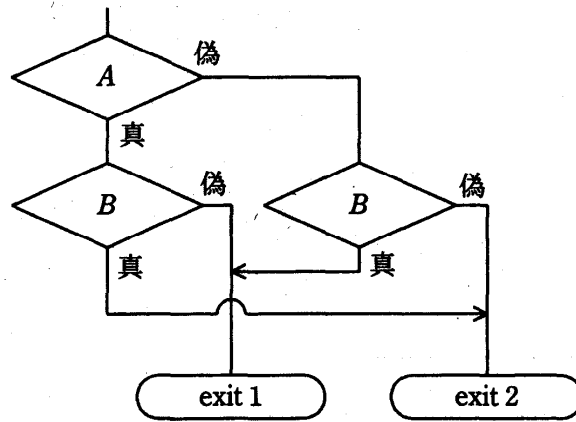
**問26**

関数  $e_q(X, Y)$  は、引数 X と Y の値が等しければ 1 を返し、異なれば 0 を返す。整数 A, B, C について、 $e_q(e_q(A, B), e_q(B, C))$  を呼び出したとき、1 が返ってくるための必要十分条件はどれか。

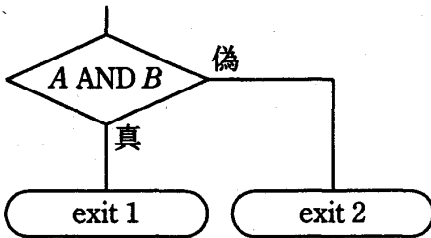
- ア (A=BかつB=C)又は(A≠BかつB≠C)
- イ (A=BかつB=C)又は(A≠B又はB≠C)
- ウ (A=BかつB=C)又はA=C
- エ (A=B又はB=C)又はA=C

問27

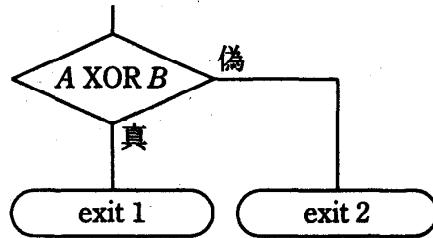
論理型の変数 A, B の値にかかわらず, 次の流れ図と同一の分岐が得られるものはどれか。ここで, AND は論理積, OR は論理和, XOR は排他的論理和, NAND は否定論理積を表す。



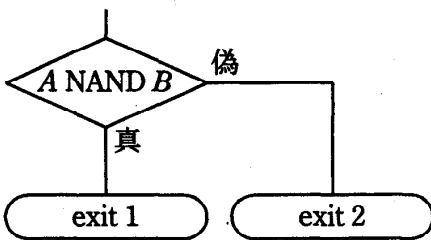
ア



イ



ウ



エ

